

令和4年度学位記授与式 理事長挨拶

学位記並びに修了証書を授与された卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍の様々な困難を克服し、この日を迎えた皆さんに心からお祝い申し上げます。

また、ご家族の皆様に対しましても、心よりお祝いを申し上げますとともに、これまでの本学運営へのご理解と、ご支援を賜りましたことに対し厚くお礼を申し上げます。

また、宮崎県知事 河野俊嗣様、宮崎県議会議長 中野一則様をはじめご来賓の皆様には、大変お忙しい中ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

さて、本学では、卒業認定時に皆さんが身につけるべき能力をディプロマ・ポリシーにおいて示していますが、それらの教育目標とは別に、皆さん自身が、大学入学時あるいは大学での学びを進めていく中で、未来の自分像を描いてきたのではないかと思います。今日の卒業の時点でその目標にどれほど近づけているのでしょうか。看護師や保健師、助産師として歩みを進めるこれからの長い社会人生活の中では、まだスタートラインに立ったばかりです。卒業のこの機会に改めて専門職としての将来の目標について考えてみてください。

アーティスティックスイミング日本代表のコーチを務められた井村雅代さんが、“自分たちが目指すものが明確になったら、いま何をしなければならないのかがわかる”ということをおっしゃっています。この言葉が表す通り、明確な目標を定めることができれば、その達成のためにどのような努力をすれば良いか、どんな姿勢で仕事に向き合わなければならないかが自ずとわかってくるものと考えます。皆さんには、本学で学んだ知識・技術を基礎に、このような取組・姿勢を実践することを通して、自分のペースで構いません、一步一步目標への階段を上って行って欲しいと思います。そしてその際には、成長する自分自身に喜びを感じることを、自分を褒めてあげることも忘れないでください。

新型コロナウイルスの第8波が終息に向かい、5月には感染症法上の位置づけが5類に変更されることが予定されていますが、皆さんがこれから飛び立とうとしている医療の現場は依然として厳しい状況が予想されます。心身の健康には十分に留意をされ、ご活躍されますよう祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

令和5年3月16日

理事長 藪田 亨